

令和3年度新型コロナウイルス対応・取り組み状況について(楽笑:放課後等デイサービス)

項目	チェック	確認事項	特記事項
職員への対応			
マスクの着用	<input type="radio"/>	事業所内でのマスク着用を徹底している。 症状がなくても患者や利用者と接する際にはマスクを着用している。	
消毒用アルコール	<input type="radio"/>	入口やトイレ等に消毒用アルコールを設置し、消毒を徹底している。 複数の従事者が共有するものは定期的に消毒をしている。	
手洗い等	<input type="radio"/>	サービス提供の前後に手洗い又は手指消毒を実施している。 日ごろから咳エチケット、手洗い等を徹底している。	
体温測定	<input type="radio"/>	各自、出勤前に体温を計測し、発熱、息苦しさ、強いだるさ等の症状が認められる場合には出勤しない。	
発熱後の出勤	<input type="radio"/>	過去に発熱が認められた場合は、解熱後24時間以上が経過し、呼吸器症状が改善傾向となるまでは出勤しない。	
健康状態の把握	<input type="radio"/>	発熱等の症状が認められる場合、管理者に報告させ、確実に把握している。 発熱等の症状が解消しても引き続き健康状態に留意している。	
人混みへの外出自粛	<input type="radio"/>	不要不急の人混みへの外出の自粛を要請している。	
会議等への出席の見合わせ	<input type="radio"/>	不要不急の会議等への出席を見合わせている。	
食事時の対応	<input type="radio"/>	休憩時マスクをはずして飲食をする場合、他の従事者と一定の距離を保ち、会話を控えている。	
上記事項の徹底	<input type="radio"/>	上記の事項について、職員に徹底するための工夫をしている。 (例 事業所内に張り紙をする。毎朝チェックさせる等)	
来所者、委託業者等への対応			
マスクの着用等	<input type="radio"/>	事業所内でのマスク着用を徹底している。	
消毒用アルコール	<input type="radio"/>	入口やトイレ等に消毒用アルコールを設置し、消毒を徹底している。	
手洗い等	<input type="radio"/>	手洗い、咳エチケット等を徹底している。	
来所者への周知	<input type="radio"/>	不要不急の来所を遠慮していただくよう、周知している。	
委託業者への対応	<input type="radio"/>	物品の受渡しは玄関などの限られた場所とし、事業所内に立ち入る場合は検温し、発熱が認められる場合は立ち入りを禁止している。	
利用者への対応			
利用者の把握	<input type="radio"/>	利用者の障害特性、基礎疾患の有無などを把握している。	障害特性や特定の健康状態により、マスク等の着用が困難な場合があるため。
通所前の検温	<input type="radio"/>	① 朝、自宅等で検温した結果の連絡をもらうことを徹底している。 ② 送迎の場合は送迎車に乗車する前に検温する。 ③ 発熱が認められる場合には、利用を断る。	
送迎時の換気の実施	<input type="radio"/>	送迎中は、車内が密閉空間とならないよう窓を2か所以上開ける、外気導入モードの使用等、換気を実施している。(熱中症対策を講じたうえで、車内の換気を行っている。)	
体調把握	<input type="radio"/>	日中の健康状況を把握し、発熱が認められる場合は、原則個室に移している。家族に連絡して迎えを待つ。	
感染防止	<input type="radio"/>	呼吸状態により着用が難しい場合を除き、原則としてマスクを着用してもらうほか、手洗いや手指消毒等を徹底し、感染防止に努めている	手洗いがうまくできない児童にはアルコールウェットティッシュで拭き取りを実施。
外出自粛	<input type="radio"/>	外出については、生活や健康の維持のために必要なものは不必要に制限せず、「三つの密」を徹底的に避けるとともに、「人と人との距離の確保」「マスクの着用」「手洗いなどの手指衛生」等の基本的な感染対策を徹底し、自らの手で目、鼻、口を触らないように留意している。	
代替サービスの確保・調整	<input type="radio"/>	関係事業所と十分に連携の上、必要となる代替サービスの確保・調整等、利用者支援の観点で必要な対応がとられるよう努める。	
サービス提供時の対応			
食事時の対応	<input type="radio"/>	食事は向かい合って座らず、他の利用者とは一定の距離を確保している。	今までと異なる状況が増え不安を感じやすくなっている児童もいるため、衛生管理はとて重要ですが、不用意に不安な気持ちにさせないよう、「気を付けるべきこと」を正しく伝えるようにしている。「健康を守るために静かに食べよう」などと、肯定的な声掛けをするなど工夫している。
	<input type="radio"/>	食事中の会話は控えていただいている。	
レクリエーション	<input type="radio"/>	声を出さずプログラムは最小限にし、利用者同士の距離を確保している。	

項目	チェック	確認事項						特記事項
サービス提供時標準予防策（職員が普段着用している個人防護具）								
サービス提供時	<input type="radio"/>	マスク		手袋		フェイスシールド (ゴーグル)		他
送迎時	<input type="radio"/>	マスク		手袋		フェイスシールド (ゴーグル)		他
施設における感染症防止対策								
消毒用アルコールの設置	<input type="radio"/>	施設入口、トイレ等に消毒用アルコールを設置し、消毒の徹底を呼び掛けている。						
手すり等の消毒	<input type="radio"/>	利用者が日常触れる、手すり等の消毒を徹底している。						手指で触り、口や鼻などを經由して接触感染のリスクを防ぐためにこまめに消毒している。
換気の実施	<input type="radio"/>	常時窓を開け、換気を実施している。(室温は18℃以上を目安としている。)						児童が集まる訓練室だけでなく共有スペースも換気を徹底している。
事業所内の清掃の実施	<input type="radio"/>	事業所内をこまめに清掃している。						
廃棄物の処理	<input type="radio"/>	廃棄物(使用済みのティッシュペーパーやマスク等)は、直接触れないようにして適切に処理している。						処理後には手洗いをする。
衛生用品等の確保	<input type="radio"/>	マスク、消毒液、手袋等が確保できている。						
集まる機会の制限	<input type="radio"/>	レクリエーションなどで多数の利用者が集まる機会を減らしている。						
イベントの中止	<input type="radio"/>	外部の者も参加するイベント等を中止している。						
感染症発生に備えた体制整備								
保健所等の連絡先	<input type="radio"/>	①感染が疑われる者が発生した場合の連絡先を把握し、(保健所等、受診・相談センター、市町、県等)連絡先を職員が分かる場所に掲示している。 ②保健所・行政機関との窓口担当を決めるとともに、役割分担を明確にし、担当者不在の際の代行者を決めている。						
発生が疑われる際の対応	<input type="radio"/>	新型コロナウイルス感染症を疑った場合は、早急に個室隔離し、保健所の指導の下、感染対策を実施する体制づくりをしている。						
対応マニュアル等	<input type="radio"/>	感染症発生時の対応マニュアル(国・県で公表しているマニュアルも含む。)等を備え置きしている。また、職員に対し周知している。						
発生時の受診先	<input type="radio"/>	感染症発生時の受診医療機関が決められている。						
記録の整備	<input type="radio"/>	感染者が発生した場合に積極的疫学調査への円滑な協力が可能となるよう、症状出現2日前からの接触者リスト、利用者のケア記録(体温、症状等がわかるもの)、直近2週間の勤務表、施設内に出入りした者等の記録を準備している。						
現在の対応状況 ※感染拡大防止の対応								
項目	チェック	確認事項						特記事項
職員と利用者との接触の減少	<input type="radio"/>	職員が受け持つ利用者を明確に定めるとともに、1人の利用者に行える限り複数の職員が接触することがないように調整する。						利用者を分散させる為、少人数のグループや個別療育を選択し、戸外遊びや散歩の時間を増やし、密を避けて過ごす時間や同時に活動できる場所を増やして対応した。
利用者同士の接触減少	<input type="radio"/>	利用者ごとに一定の間隔を確保する。						
職員間の接触の減少	<input type="radio"/>	メール等を利用した打ち合わせの実施や、休憩、食事をとる時間や場所を分ける。						昼食時間や場所を分散して飛沫対策を行った。
事業所間の業務等の見直し	<input type="radio"/>	勤務体制を見直して、複数事業所の兼務や交流を中止する。						

今後も引き続き、感染症対策を徹底した上でサービス提供し、関係機関と連携して対応に努めていきます